

Beside you

... あなたのそばに ...

対策もとらなくては、時間も短く、でも
ちょっとだけ 会いたいじゃんね !!



CONTENTS

P 2 **特集** この経験をつなげよう
“今後の地域づくりに”

- P 6 令和元年度事業報告・収支決算
- P 7 令和2年度事業計画・収支予算
- P 8 ボランティアだより
- P 10 社協会費
- P 11 お知らせ
- P 12 おおつきで頑張る若者

表紙写真：真木地区内「ふらりと！」

(関連記事P 2～5をご覧ください。)



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会



▲手話サークル再開（全員フェイスシールドで飛沫防止対策）



大月市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画に基づき、区会・自治会、民生委員・児童委員、地区社協などの地域福祉推進組織や福祉施設、NPO法人、企業、行政機関等との協働をしながら、「共に生きる福祉のまちづくり」を目指した取り組みを展開しています。そのような中、当社協だよりでは、特に住民主体の取り組みにスポットをあて、「住民が主人公の地域の居場所づくり」や「おおつきお助け隊の活動」、「ふれあいいきいきサロン」など、取材を通じて多くの活動を紹介してきました。

しかしながら、今年に入り、世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛が続いてきました。私たちが推進する活動は、人と人が集い顔をあわせ、ふれあう機会が多く、なるべく人と接触しないようにすることが求められたこの何か月間、これらの活動も自粛せざるを得ない状況となりました。

このような時だからこそ、あらためて、人と人のつながりやふれあいの大切さ、人と会っておしゃべりすることの楽しさなど、色々なことを考えさせられたり、色々な気づきを得たのではないのでしょうか？

みんな～距離をとってあそぼ～ね！



▲大月市総合福祉センター2階児童館も予約制にて再開！

今回、大月市社会福祉協議会では、この自粛期間において、高齢者や障害のある方などを対象に、日常生活、緊急困りごと調査を実施しました。

これは、今後、地域へ出向き懇談会等ができる状況になった時に、「共に生きる福祉のまちづくり」への取り組みにつなげることができると考えています。

今号では、この調査結果を報告させていただき、この数か月間の経験から感じたことや、考えたことを含めて「今後の地域づくり」につなげる契機としていきたいと思えます。

新型コロナウイルスの影響に関する日常生活、緊急困りごと調査



調査実施

新型コロナウイルス感染症による外出自粛を受け、大月市社会福祉協議会では、高齢者や障害のある方などを対象に、生活や健康上の困りごとを電話で聴き取る「緊急困りごと調査」を行いました。

今回、中間報告がまとまりましたので、お知らせします

緊急困りごと調査は、災害時要援護者登録制度に登録の162名の方を対象に行いました。社協職員が電話などで健康状態や困りごとなどの聴き取りを行い、これまでに106名から回答を得ました。

回答を得られなかった方は、高齢のため耳が遠く、聞き取りができない方や電話に出ない方などのため、今後、地域支援者や民生委員と連携を図りながら、声かけや見守りを行っていきます。

また、現在、民生委員児童委員協議会とおつきお助け隊の協力をいただき、一人暮らしの友愛訪問事業利用者やお助け隊利用登録者の方にも同様の調査を行っています。



緊急困りごと調査 中間報告（6月12日時点）

● 新型コロナウイルスでの外出自粛が求められる中、ご自身の生活は、変わりましたか？

- ・ 普段と変わらない 88名（83%）
- ・ 変わった 18名（17%）
- 具体的に変わったこと
 - ・ 買物に行くのが少なくなった。
 - ・ 通院の回数が減った。
 - ・ 外出する機会が減った。
 - ・ 家族の訪問が少なくなった。
 - ・ 近所の人との交流が減った。 など

● 外出自粛の中で、特に困ったこと、心配だったことは、ありますか？

- ・ ある 19名（18%）
- ・ ない 87名（82%）
- 具体的に困ったこと・心配だったこと
 - ・ コロナに感染しないか心配。
 - ・ 外出できない不安。
 - ・ 買物が思うようにできなく困った。
 - ・ 通院が思うようにできなく困った。
 - ・ 家族の訪問が減って支援が受けられない。
 - ・ 離れている家族のことが心配。 など

● 健康について、不安なことはありませんか？

- ・ ある 35名（33%）
- ・ ない 71名（67%）
- 具体的な不安
 - ・ 疾病（持病）について
 - ・ 閉じこもりがちになっていること
 - ・ 高齢による漠然とした不安
 - ・ 転倒への不安
 - ・ 外出できないための体力の低下 など

● コロナ渦の中で様子をみて来てくれた人や声をかけてくれた人はいますか？

- ・ いる 89名（84%）
- ・ いない 17名（16%）
- 具体的に声かけや見守りをしてくれた人や家族の連絡や見守りが最も多く、続いて近所や民生委員、知人・友人、そして介護事業所となっている。



▲調査のため職員が電話する様子

調査から感じたこと・伝えたいこと

「人と話す」って大事なこと！

高齢者等は、長期間にわたる外出自粛によって、通院や買物が思うようにできない状況や外出できない不安、今後の日常生活への不安、人とのつながりやコミュニケーション不足によるストレスなど、日常生活や心身の状態に何らかの影響を受けていることがわかりました。

また、その反面、『話すことが出来て良かった』『心配して連絡してくれることがうれしかった』『気軽に相談できることが伝わった』などと話してくれた人も何人かいました。このことから、人との関わりが如何に重要であるかを、あらためて認識することができました。

大月市におけるつながりはまだ沢山ある！

本市における地域のつながりは、依然として強いものがあるということもわかりました。今時点ではありますが、8割以上の方は、近所の方が「声をかけてくれる」「様子を見に来てくれた」「連絡してくれた」「困ったときは助けてくれる」という声が多く聞かれました。また、家族においても、訪問の減少はある

ものの、定期的に電話で連絡をとっていることでした。その中で「孫の顔が見れなくてさみしい」「家族の顔が見たい」などのお話もありました。

このように、つながりが沢山ある結果につきましても、普段からの近所づきあいがまだまだあることや、住民主体の小地域における福祉活動（サロン活動など）を通じて、皆さんが創り出している「地域の力」が大きな要因であるといえます。

しかし、一方で、1割程度の方が、声をかけてくれた人や支援してくれた方は、「いない」との回答がありました。今回、最も注目していたところは、この「いない」と回答があった「1割の方々」です。



1割の方に焦点をあてて考えてみる

「これから地域づくり」

今後の地域づくりに向け、大月市社協では、このことを「1割程度もいた」と捉え、このような方に対して、訪問等を行い支援していくとともに、関係機関・団体と連携し、地域に働きかけを行い、地域のつながりを強化し、「誰もが安心して生活できる地域づくり」を行っていきます。



また、このことを進めていくにあたり、今調査を意義あるものにしていくことと、これを契機とした二一ズ調査の徹底を図っていくために、「地区社協の推進」並びに「社協職員地区担当制」を更に強化し、職員も今まで以上に「汗をかいて」まいります。

「こんな時だからこそ出来たこと・考えたこと」。この経験から得たものを、みんな話して、考え、「共に生きる福祉のまちづくりの実現」「今後の地域づくり」に生かしていきたいでしょう！

新型コロナウイルスへの対策をしながら 少しずつ活動が再開されてきています！

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛が続いてきましたが、緊急事態宣言も解除され、多くの地域から、「サロンに早くいきたいよー集まりたいよー」「サロンは開いても大丈夫なの？」などといった、声が寄せられてきています。

これからは感染防止対策と通常の生活を、国の示す「新しい生活様式」などに基つき、両立させていかなくてはならないと思います。少しずつではありますが、新型コロナウイルス感染症への対策をしながら、地域での活動やボランティアサークル活動などが再開されてきています！

地域におけるサロン活動などについて、次のことに注意し、参加者の皆様と再開に向けて検討して頂きたいと思えます。

- ①健康チェック
 - ・ 外出前に体温を測り、発熱や体調のすぐれないときは休ませよう
- ②手洗い
 - ・ 石鹸等でこまめな手洗い、消毒薬も併用しよう
- ③3密（密閉、密集、密接）の回避
 - ・ こまめな換気をして、人との距離を多くとるようによましよう

- ・ 体操や歌を歌う時は十分な距離を取りましょう
 - ④マスクの着用を徹底しましょう
 - ⑤お茶飲みは行わないかペットボトルや個別包装のお菓子などで対応しましょう
- （新しい生活様式参照）
- なお、外出の自粛により、サロン参加者等の運動不足や孤立、つながりの低下などが懸念されます。サロン活動の再開が難しい場合には、電話等で会話や見守りを行ったり、運動の促進を行うなどできる範囲で地域活動の推進を図ってもらえれば幸いです。



▲真木地区内（「サロンいつから始めよ〜か？」と相談しています（^^）



▲白寿会の地域の清掃活動（岩殿山登山道畑倉入口）



▲点字サークル（みんなで対策しながら再開です！）

令和元年度事業報告と決算

令和元年度新規事業として、大月市社会福祉協議会では、市から「生活困窮者自立支援事業」の委託を受けました。この事業を含めて、これまで実施してきた「生活支援体制整備事業」や「指定特定相談支援事業」並びに「指定障害児相談支援事業」などとともに、個別支援に留まらず、事業を通じて地域づくりを進めていくことを意識するなど、積極的な地域福祉の推進に努めました。

また、依然として厳しい経営状況が続く中においては、安定的な経営を目指すため、第2次社協発展強化計画をもとに、「財政基盤の強化」を推進するとともに、人事考課制度や目標管理制度などの評価制度の確立を含めた「組織体制の整備と強化」について、具現化を図るための目標設定や職員説明会などを行いました。

更に、当会が運営する介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）とふたば保育園においても、充実した介護サービスの提供や育児支援など、市民の目線に立った運営に努めました。



▲地区社会福祉協議会の活動（児童との植栽活動）



▲ふれあいいきいきサロン

(令和元年度一般会計決算)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
事業活動	会費 4,859,000	事業活動	人件費 209,337,917
	寄附金 878,398		事務費 11,295,415
	受託金 64,365,914		事業費 58,331,487
	補助金 29,372,700		その他 4,110,780
	事業費 177,620,156		
	その他 1,353,031		
施設整備等	4,080,680	施設整備等	5,711,540
その他の活動	19,645,800	その他の活動	5,656,720
収入計	302,175,679	支出計	294,443,859
	当期資金収支差額		7,731,820
	前期末支払資金残高		59,709,667
	当期末支払資金残高		67,441,487



令和2年度事業計画と予算

●基本方針

大月市社会福祉協議会は、ここ数年厳しい経営状況が続いていますが、様々な福祉ニーズに対応していくために、今まで以上に地域福祉の推進を図ることや継続的で安定した福祉サービスの提供に努めていく必要があります。令和2年度は、「第2次社協発展強化計画」の具現化による経営基盤の強化を推進し、安定的な経営と第3次おつき花咲プランの着実な実行に繋げることが出来る体制強化に取り組めます。

第2次発展強化計画の推進にあたっては、社協の存在や価値を高めていくために、生産性の向上と働く意欲の向上が必要であることから、色々な評価制度や資格の面でも評価できるキャリアパス制度などの導入を1年間掛けて徹底的に研究・検討し、令和3年度の運用を目指します。また、併せて、職員業務内容表並びに事業評価表を分析し、事業の適正化を図るとともに、新たな事業を検討するなど、地域福祉財源の確保に取り組みます。

地域福祉の推進にあたっては、「みんなであつくる ささえあいの福祉のまち 大月」の実現に向け、各地区での住民懇談会等を踏まえ策定した「第3次地域福祉活動計画（おつき

き花咲プラン）」に基づき、地域や各種団体とのネットワークを生かした地域福祉の推進を展開していきます。

その中で、今年度は新たに「福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）」を県社協から受託し、基幹的社会福祉協議会として事業を実施します。当事業においても、地域福祉推進を更に強化していくために受託した「生活支援体制整備事業」や「生活困窮者自立相談支援事業」と同様に事業を通じて、しっかりと課題を捉えることや個人への援助だけでなく、個人を含めた地域への援助や働きかけを意識するなど、地域を基盤としたソーシャルワークを念頭に積極的な推進を図ります。

介護保険事業所（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）並びにふたば保育園にあたっては、健全な経営と更なるサービスの質の向上に努めます。更にそれだけでなく、「地域福祉推進役である社協の事業所」として相談援助活動を意識して取り組む中で、利用者と地域との関わりにも目を向けて、あらゆる職種との連携を大切に、新たなニーズ等の発見や資源開発などの地域づくりに努めます。

(令和2年度一般会計予算)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
事業活動	会費 4,650,000	事業活動	人件費 207,061,000
	寄附金 900,000		事務費 14,332,000
	受託金 66,603,000		事業費 65,408,000
	補助金 30,256,000		その他 4,285,000
	事業費 189,400,000		
	その他 1,205,000		
施設整備等	0	施設整備等	0
その他の活動	0	その他の活動	5,367,000
前期末支払資金	4,305,000	予備費	600,000
総計	297,319,000	総計	297,053,000



*より詳しい決算内容・予算内容を知りたい方はご請求下さい。資料をお送りします。

ありがとうございます ご寄付と収集ボランティア活動の報告
(3月11日～6月11日受付分)

●皆様のご協力に感謝いたします。
今後ともよろしく願いたします。



●**寄附金**
山梨ヤクルト販売株式会社 ヤクルト販売店一同 三〇〇,〇〇〇円／車椅子レクダンス大月支部 五,〇〇〇円／大月市ダンス愛好会一〇,〇〇〇円／小山田信茂公顕彰会 五,〇〇〇円／匿名 一一六,〇七〇円 (敬称略)

●**マスクなど**
空手道 政志会／田村喜寛 (敬称略)

●**ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレフォンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶など**
大月東中学校／竹田きせ子／浅利ゲートボール愛好会／木下千恵子／林博之／小俣正美／いきいきサロンかつら／水越繁子／猿橋幼稚園／セブンイレブン大月鳥沢店／岡部そえ子／野呂瀬護男／増倉重子／いきいきサロンアミダ海／岡部四郎／細川知美／大嶽典則／ナーシングホーム猿橋／梁川町ボランティア協議会／水越正和／小林諭子／横山徳子／市川正則／大月富士見苑／島山哲／藤本まき子／小坂好美／大月市役所／高鳥豪／大月バレーボール連盟／小俣秀代／杉本正文／蜂須賀整形外科／杉本光晴／中村律子／矢竹元生／小林勝子／お茶飲み会峰沢／木馬の会／小宮文男／大月保育園／渡辺由依／遠藤喜代美／天野春江／介護老人保健施設もくら／すずらん会／サロン虹／卯月つやの／天野知子／平井製作所／中日本施設管理(株)／下真木ふれあいサロン／田中加代子／町田圭司／富士厚生クリニック／小俣由子／小俣愛／高鳥佳巳／富士見台老人クラブ／(株)花田モーターズ／老人大学園芸部／善福寺／老沼和子／清水千代子／天野里子／天野龍弥／小林充／佐々木阿朝子／佐藤春江／小俣一広／小池頼行／尾崎公子／鳥沢幼稚園／サロン駒 (敬称略)



大月市ボランティアセンター
(大月市社会福祉協議会内)
大月町花咲10
(大月市総合福祉センター)
電話:0554-23-2001

ボランティアだより

No.68

『応援マスク運動』はじめます

山梨県の緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだコロナ余波が感じられます。皆様いかがお過ごしですか？

5月に、社協(福祉センター)に「これ、使ってください」と布製マスクを持ってきてくれた方がいました。

市内の感染者はいませんが、まだまだコロナ禍の中、そのような皆様のお気持ちが嬉しいご寄附でした。

そこで、市社協でも「応援マスク」ポストを設置し、皆様の思いを「必要とされる方」(福祉施設や子育て支援センター、生活困窮者など)へお届けします。皆様のご協力をお待ちしております。

日時 令和2年6月2日から
7月31日まで

ポスト設置場所

大月市総合福祉センター1階

(大月町花咲10番地)



●お問い合わせ先

事務局：市社協 地域福祉担当

ボランティアセンター

電話：0554(23)2001

FAX：0554(22)2861



社協会費の実績

令和元年度の会費は、各世帯、福祉関係団体、企業及び企業団体の方々にお願いたしました。これらの会費は、社協の運営費や地域福祉に関する事業に、有効に利用させていただきました。

皆様のご協力に深く感謝申し上げます、また、今後ともご協力をお願い致します。会員の状況につきましては次のとおりです。

令和元年度社協会費総額 **4,859,000円**

皆様のご支援に感謝します!

●一般会員 3,981,000円

○各地区社会福祉協議会実績

地区	金額	地区	金額
笹子	164,000円	七保	424,000円
初狩	282,500円	瀬戸	154,000円
真木	280,500円	猿橋	809,500円
大月	653,500円	富浜	544,500円
賑岡	501,000円	梁川	167,500円

●団体会員 223口 223,000円

大月市老人クラブ連合会／大月市障がい者福祉の会／NPO 法人こわけ／NPO 法人山ゆり大月／大月ロータリークラブ／点字サークル八重桜会／大月市ボランティア協議会／大月市民生委員児童委員協議会／笹子地区民生委員児童委員協議会／初狩地区民生委員児童委員協議会／大月地区民生委員児童委員協議会／賑岡地区民生委員児童委員協議会／七保地区民生委員児童委員協議会／猿橋地区民生委員児童委員協議会／富浜地区民生委員児童委員協議会／梁川地区民生委員児童委員協議会／(福)芽生福祉会就労支援事業所めばえ／(福)平成福祉会大月富士見苑／(福)山梨県社会福祉事業団もえぎ寮／大月市保育所連合会／大月地区保護司会／北都留医師会／大月歯科医師会／大月市小中学校校長会／大月交通安全協会大月市連合会／クレイン農業協同組合／大月市商工会／りん鈴 Factory／大月商店街協同組合／大月認知症家族の会／音訳ボランティア聲／手話サークル山百合／(福)山の都福祉会／一般社団法人メリーの会／車イスレクダンス大月支部／NPO おおつき社会福祉事務所ソーシャル 【敬称略、順不同】

●特別・個人会員 131口 655,000円

笹一酒造(株)／甲州砕石(株)初狩鋳業所／大月精工(株)／メトロ電装(株)大月工場／(株)花咲カントリー倶楽部／(株)中央興産オートサービス／(株)大月プリント社／おむすびろまん／(株)誠実堂／(有)山口商事／かどや／東京濾器(株)大月工場／シミズ光機(株)／(株)小俣製作所／(株)黒部製作所／桑田設備(株)／中央浄化槽管理センター／さとう葬祭(株)／ワタナベ自動車修理工場／山陽精工(株)／日本ステンレス工業(株)大月本部／西忠産資工業(株)／三協オイルレス工業(株)／(株)大月カントリークラブ／正栄産業(株)／(株)竹田精機製作所／三栄工業(株)／シラトリ(株)／大月市金融機関協議会／大月市建設協会／(有)大月自動車／(株)正直堂大月出張所／トータルプランM／古沢薬局／沢井観光(株)／(株)W I Z N e t／和泉屋商店／セブンイレブン鳥沢店／(有)コタカ電化／(株)和田電業社／濱野屋ティートラスト(有)／カイロプラクティックサロン サマーヒルズ／富士納豆製造所／(株)平井製作所／フジ計装(株)／(株)馬場設計／富士観光開発(株)／住屋商店／福祉工房／サンワライフ保険／(株)堀江製作所／(株)卯月林業／(株)土屋輪業／(株)テックエンジニア／(株)ユーキ／大一木材(株)／甘利建設工業(有)／(有)アンビックス／(有)志村デザイン事務所／(有)清水商事サービス工場 【敬称略、順不同】

●令和2年度の社協会費につきまして、引き続きのご協力をお願いいたします。

お知らせ

「社会福祉チャリティーゴルフ大会」
は中止いたします

毎年9月に開催する「社会福祉チャリティーゴルフ大会」は、本年度、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、参加者の皆様の健康と安全を考慮しまして、開催を中止させていただくことになりました。

●お問い合わせ先

大月市社会福祉協議会 電話23-2001(代)



大月市総合福祉センターの利用について

大月市総合福祉センターは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設を休業させて頂いておりますが、6月2日(火)より、3階、5階、6階の利用については一部制限を設けて再開しました。来館の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの対策として、来館の皆さまにおかれましては、『手、指の消毒の徹底』『3密の回避』等、感染予防にご協力をお願いいたします。

※利用に際して、各部屋の利用人数の制限や注意事項があります。これら詳細は、大月市社会福祉協議会のホームページでご確認ください。

※今後の状況により対応が変更される場合があります。詳細は、大月市社会福祉協議会のホームページでご確認ください。



連絡先 総務担当(施設管理) 電話23-2001(内線14)

「おおつきお助け隊」からのお知らせ

新型コロナウイルス拡大防止の観点から自粛をいたしましたお助け隊活動について、生活支援として、屋外の活動から段階的に再開することいたしました。

活動につきましては、予防対策を講じながら支援活動を行ってまいります。また、状況によっては、十分な対応ができない場合もございますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

尚、買物支援や屋内の活動については、今しばらくお待ちください。活動再開になりましたら、改めて、お知らせいたします。

○開始する活動

・屋外での活動(庭の草取り、庭の掃除、簡単な植木の剪定など)
※1時間以内に終わる作業のみとさせていただきます。

○活動に対する予防対策

- ・隊員の体温や体調の確認を行います。
- ・利用者との対面時は、マスクの着用を徹底します。
- ・少人数(2~3名)での対応を行います。

○利用者へのお願い

- ・申し込み時、体温や体調の確認をさせていただきます。
- ・当日、体調不良や発熱などが認められる場合には、活動を取りやめます。
- ・対面時は、マスクの着用をお願いします。



●お問い合わせ先

事務局・市社協 地域福祉担当

おおつきお助け隊事務局

0554(23)2001



ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手を取りあって、
明るいしあわせな社会を建設す
る姿」を表現しています。

<< 編集後記 >>

今回のコロナ騒動はまさに未曾有の出来事でした。すべての人に10万円を配るという出来事、学校が長期間休校となること、不要不急の外出禁止、三密回避、等々。そしてこれがあつという間に世界中に広まっていったということ。まさにいまだ嘗てない出来事でした。最近になってようやく緊急事態宣言が解除され、以前の状態に戻ろうという状況になってきました。それでも何となく今までとは違う、もやもやとした雰囲気が残っているような気がします。この後遺症はいつまで続くのでしょうか。私たちの思考も大きく変えられたと思います。これは福祉に関しても大きく影響していくと思います。例えばこれから予想される災害に関して、避難所の対応、三密を防ぎながら如何に避難所を運営していくのか、そのための場所の確保、設備の改善等、多くの課題が見えてきました。

今、大月でも県が主体となって、「二地域居住への研究会」が発足して、首都に近い地域を味方にして、新しい働き方への模索が始まりました。今後この経験を生かして、新しい福祉、社会の在り方がさらに進化して、より良い方向に向かっていくことを願っています。

(広報委員会 委員長 林 博之)



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。



かつまた みく
勝俣 美空 さん (23)
(七保町)

おおしきで頑張る若者 27

- 現在の職業は？
大月市立中央病院に勤務し、看護師をしています。
- 趣味は？
夏はキャンプ、冬はスノボ。あと、高校まで陸上をしていました。走ることも大好きです (*^_^*)
- 仕事をしていて、本当に良かったと思う時は？
患者さんに「ありがとう」や「勝俣さんが担当になってくれて良かった」など、声をかけていただくと大変励みになっています。また、退院した後、大月で元気な姿で生活しているところを見ると、本当に嬉しくなります。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索